

実施計画事業名		地域魅力向上事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		総務部地域振興課		課長(主幹)名	布施 茂			
総合計画体系	分野	0	地域経営(自治)					
	政策	1	持続可能な地域社会づくり					
	施策	1	まちなにぎわいを取り戻します					
	関連施策							
現状と課題	団塊世代の定年後の定住・移住の促進のため、全国的に情報発信、具体的な支援策を講じている地方自治体が増加している。北海道も定住・移住の促進のため協議会を設立し、共同歩調で事業を推進している。本市も住宅について、地元不動産事業者と協議を行い、具体的な取り組みを行っているが、定住なのか季節的な滞在なのか、また、就業場所の確保等、解決しなければならない問題もあり、今後、詳細を詰めていかなければならない。							
目的	定住・移住を促進し、地域の人口減少を防止するとともに、新たな移住者により地域社会の活性化を図る。							
施策展開の	地域における短期居住や空室情報を市内不動産事業者と連携し、市のホームページにリンクし、PRを行う。定住・移住については、地域的なことから、本市は季節的な滞在(二地域居住)を主に今後PRを実施する。							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	定住・移住者数		人	目標	↑	↑	↑	
説明	本市に問い合わせがあった方内、本市に来られた方を対象(不動産業者確認)			実績	0	0		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	PR回数		回	目標	1	2	2	
	説明	ホームページの他にチラシや他の広報形態を活用したPR			実績	1	1	
				目標	-	-	-	
	説明				実績			
				目標	-	-	-	
	説明				実績			
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	0	0	0		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	0	0	0		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.02	0.02	0.02		
	人件費(B)		千円	136	139	139		
計(A+B)		千円	136	139	139			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 ニッポン移住・交流ナビjoin(移住・交流推進機構)に登録し、本市のPR及び市内不動産情報を発信している。 平成24年度から「政策調整部市民協働課」所管							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>b</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>b</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 本事業は、細事業についても単独事業であるが、本市への定住・移住に係る事業は他事業もあり、今後はそれらの事業も含めての実施計画事業とする必要がある。例えば、開業医誘致推進事業、新規就農者に係る事業等が考えられる。
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要
	<bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>B</b> 見直しの検討が必要
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 本市ではその地理的、気象的な条件からも非常に難しい課題である。本市としては人口減少に歯止めをかけることが急務であると考えているが、教育、医療、雇用の問題など幅広い視野を持って総合的な魅力を高める考え方が必要となる。一方で、交通結節点として駅周辺再開発や港湾整備が行われたことから、本市の魅力を大いに発信し、交流人口を増やすことで、本市に関心を持ってもらうことが定住や移住にもつながるものとする。しかしながら、新たな開業医や新規就農者等も定住・移住者であり、最近の統計について、関係部署(保健課・農政課)の協力を得て数字の確認を行っていく。

【2次評価】

成 果	<b>b</b>	細事業の構成	<b>b</b>	細事業の進め方	<b>b</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>B</b> 見直しの検討が必要						
	<2次評価者の視点からコメントを記入する> 細事業の進め方について「b」とする。 今後の事業展開について検討する。						

【内部評価委員会】

意 見	目に見える形の事業内容を伴っておらず、今後事業の存廃を含めて抜本的な見直しを行う必要がある。
--------	--